

令和元年度3学期終業式に代えて

3年生の皆さん、ありがとう。

「創る」 ～自分で自分をコントロールし、自分自身を自分で創る～



学校長 清水 恒善

昨日の夕方、誰もいない教室を回ってみました。多目的ホールには3年生を歌で送る歌詞の大切な部分が大きく貼り出され、卒業式へ向けて準備していた皆さんの姿が思い起こされました。3階にあがってみると「祝卒業」の大きな文字が目に入り、その隣には大きなMemory Treeが掲示されていました。先生方が貼ってくれたんだと思います。在校生から3年生へのメッセージや3年生からお世話になった人への感謝の言葉などが一人ひとり綴られておりました。



■このクラスの雰囲気がとても大好きで毎日学校に来るのが本当に楽しみでした。今までありがとうございました。(3年)

■私の心を救ってくれた友達 本当にありがとう(3年)

■3年生の皆さんへ 今までぼくたちを支えてくれてありがとうございました。(在校生)

■3年生の先輩方へ 中学へ入学してすぐあたふたしている僕たちに中学のルールや掃除の仕方、そして三本柱などていねいに教えて下さりありがとうございました。生徒会をひっぱっている姿はすごかったです。



3年生からのメッセージにはお世話になった先生方や友達の名前がたくさん書かれていました。互いに「ありがとう」といった感謝の言葉に満ちている、そんなメッセージに、目頭が熱くなりました。3年生との最後の大切な時期を共に過ごすことのできないこと、本当につらいです。

今年の3年生は生徒会テーマに、「創(つくる)」ということを掲げてくれていました。この生徒会を自分たちの手で創るということは、もっと言えば、自分の人生を自分の手で創ることにもつながる、自分たちの社会(未来)を、自分たちの手で創る、そう、気づかされました。その具体の姿が随所に見えたのが蒼龍祭でした。人生は、誰かに与えられるものではなく、自分で切り拓くもの。自分で創るものだと、2日間の蒼龍祭を通じて、その思いを強くしました。3年生の皆さん、本当にありがとうございました。私たちの誇れる3年生でした。

本日から臨時休業となります。新型コロナウイルス感染防止のための臨時休業です。ラグビーワールドカップのとき、チームが一つになって(One Team)力を発揮したように、今こそみんながOne Teamになって感染防止に努める、そう思います。従って、人の集まる場所等への外出を避け、基本的に家で過ごすようにしてください。一人でいるとつい楽な方に流れてしまう、だらだらしてしまいがちです。

家では学校にいるときのようにチャイムがなりません。自分の心に自分からチャイムをならしスイッチを切るときには自分から切る、自分で自分をコントロールする力をつけていこう。3年生が君たちに一年をかけて伝えてくれた「創る」ということを、この機を生かして、自分で自分をコントロールする、自分を自分で創っていく、そんな一年のまとめとしていきましょう。

臨時休業にあたり校長先生からお願いのような3つのこと、お話しします。

自分で一日を振り返ろう

- ① **学習**をしましょう。1, 2年生には校長先生から「学習カード」を配布しました。自分が学習した時間の分、右の棒グラフのように色を塗って休み明けに校長先生に提出して下さい。

3月		学習時間 (マーカーで色を塗りましょう)										1日を振り返る	ふり返り	
		1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目	7時間目	8時間目	9時間目	10時間目	11時間目	12時間目	
2日	月	臨時登校日	30	1時間	30	2時間	30	3時間	30	4時間	30	5時間	30	◎
3日	火		30	1時間	30	2時間	30	3時間	30	4時間	30	5時間	30	◎
4日	水		30	1時間	30	2時間	30	3時間	30	4時間	30	5時間	30	◎
5日	木		30	1時間	30	2時間	30	3時間	30	4時間	30	5時間	30	◎
6日	金		30	1時間	30	2時間	30	3時間	30	4時間	30	5時間	30	◎
7日	土		30	1時間	30	2時間	30	3時間	30	4時間	30	5時間	30	◎
8日	日		30	1時間	30	2時間	30	3時間	30	4時間	30	5時間	30	◎
9日	月		30	1時間	30	2時間	30	3時間	30	4時間	30	5時間	30	◎
10日	火	(後期選抜①)	30	1時間	30	2時間	30	3時間	30	4時間	30	5時間	30	◎
11日	水	(後期選抜②)	30	1時間	30	2時間	30	3時間	30	4時間	30	5時間	30	◎
12日	木	(生徒総会) (3年生も参加)	30	1時間	30	2時間	30	3時間	30	4時間	30	5時間	30	◎

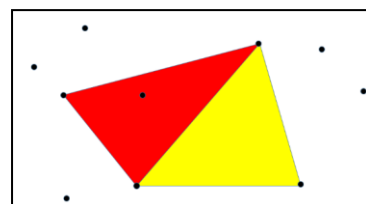
- ② 家の**お手伝い**を何か一つでもやろう。

- ③ **本**を読もう。読書は未来の自分づくりにつながります。 秋の校長講話の一部を掲載します。

◇◇ 校長講話(R1,11,13 後期読書旬間に寄せて ◇◇

「読書は未来の自分づくり」 より

喜多川泰さんは読書に関わって次のようなことをお話されています。



勉強をする目的ってどうしても「目の前にある結果を手に入れるため」になってしまいがちです。例えば「明日のテストでいい点を取るため」「希望する学校に合格するため」すぐに結果がほしくなります。でも、読書はすぐに結果が出ないんです。本を一冊読んだとしても明日のテストの点数がすぐに上がるわけではありません。合格できるわけでもありません。もっと先のことにつながるんです。例えば、このホワイトボードをみんなの将来だとしましょう。本を1冊読むことによって、このホワイトボードに「将来、使えるかもしれない点」を1点、打つことができるんですね。本をもう1冊読むことによって、もう1つ、点を打つことができるんです。もう1冊読むともう1つ。3冊読めば、3つの点を描くことができるんです。それをつなげて何が描けますか？三角形ですよ。点がもう一つ増えて4つになれば、四角形も描けるし、三角形も描ける。そうやって、5つ、6つ、って点を増やして行って100個点が描けるとウサギが描けるかもしれません。1万個になったらどうでしょうか。どんな絵でも描けそうな気がしませんか？山や風景や…。つまり、点の数が多ければ多いほどどんな絵でも描ける。どんな夢でも描けると思うんです。みなさんの将来に…。

僕は作家ですからもちろん本を書くんですが、その時に常に今まで生きてきた人生の中で最高のものを書こうと考えています。僕の人生観のすべてを凝縮して最高のものを書こうとしているんですね。一冊の本には「著者」という一人の人生の最高のものが詰まっているんです。一人の人が経験できることには限りがあります。一人分の人生しか体験できないんです。でも、本を読むことによって自分以外の人の人生や経験を味わうことができるんですね。だから、たくさん本を読んだほうがいいんです。たくさん学んだほうがいいんです。そのほうがより大きな夢が描けるんです。

(比田井和孝さんのブログを参考にさせていただきました。)